



西ノ京

学校教育目標 「心豊かで しなやかに 生きる力 の育成」

京都市立西ノ京中学校

学校だより ⑫

令和7年(2025)3月17日

校長 藤井 泉



第76回 卒業証書授与式

令和7年3月14日(金)暖かな春の日差しの中、令和6年度西ノ京中学校第76回卒業証書授与式を挙行いたしました。141名の生徒が西ノ京中学校を巣立って、4月からは、それぞれの進路に向かって旅立ちます。温かな雰囲気の中で、卒業生を送り出せたことを嬉しく思います。皆様には、三年生代表生徒による答辞を紹介して、卒業証書授与式の報告とさせていただきます。



答辞

雲は白く流れ、グラウンドを渡る風の中にも、春の日差しが輝いています。そんな春のかすかな訪れを感じる、今日というこの良き日に、私たち141名は、この思い出多き学び舎を巣立っていきます。さきほどは、校長先生をはじめ、ご来賓の皆様方、在校生の方からの暖かいご祝辞と励ましのお言葉をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。こうして卒業式を迎えた今、ふと瞳を閉じると、西ノ京中学校で過ごした三年間の思い出が次々とよみがえってきます。

入学してすぐの私たちは、いろいろな小学校から集まつた仲間と仲良くなれるのかなといった不安や、これから始まる中学校生活への期待でワクワクする気持ちを抱えていたことを覚えています。中学校では、今までとは違い、本格的になる定期テスト。教科ごとに先生が異なること。合唱祭や、体育祭などの学校イベントはとても、盛り上がること。ほかにも慣れないことはたくさんありましたが、仲間と過ごす中学校生活は、どんどん充実したものになっていきました。しかし時には、羽目を外して注意されてしまうことも多くありました。まだまだ私たちは未熟で三年生の背中は遠く感じられました。

二年生になり、初めての後輩ができました。一人一人が、「先輩としてしっかりしない」と思うようになっていきました。チャレンジ体験では、働くことの大変さと、やりがいを学ぶことができました。また、将来の自分について考える良い機会にもなりました。毎日私たちのために働いてくれている家族に改めて感謝しようと思いました。新型コロナウィルスによる制限が緩和され、マスクも外せるようになりました。体育祭では、学年競技で台風の目をしました。息を合わせて走るのはとても難しく、思うようにいかないこともあります。しかし、休み時間なども、クラスのみんなで練習を重ねることで、どのクラスも最大限の力を発揮することができました。体育祭を通して、一致団結し学年全体での絆が深まりました。

そして三年生になった私たちは自ら考えて行動することでたくさんの人から信頼してもらえる学年になりたいと思うようになりました。二年生のころからずっと楽しみにしていた、長崎への修学旅行。クラスの枠を超えて、学年全員が笑顔で二泊三日を過ごすことができました。時間を忘れるくらい歩き回ったハウステンボス。晴れ渡る空の下で、みんなで声を合わせたペーロン体験。笑いの絶えなかつたレクリエーション。そして長崎原爆資料館での平和学習。世界平和の願いを込めて学年みんなで千羽鶴を作り奉納しました。平和学習を通して、命の尊さと、普段の生活が当たり前ではないということにあらためて気づくことができました。ほかにも、長崎の夜景をバックに写真撮影をしたこと。新幹線の中でカードゲームをして楽しんだことなど語り切れないほど、心に残るたくさんの思い出ができ

ました。そして合唱祭。昨年度からやっと、三学年全員が体育館に集まって開催することができるようになりました。そんな中、三年生が中心となって縦割りで全校合唱のパート練習を行うことになりました。私たちだけで合唱祭を成功させることができるのだろうかという不安な気持ちもありましたが、先生方の支えもあり仲間と力を合わせ、乗り越えることができました。合唱祭本番では全員のハーモニーが響きあい素晴らしい合唱になりました。

三年間を共に過ごしてきた仲間へ、思い出に残る楽しい中学校生活をありがとう。不安な気持ちから始まった中学校生活も、みんなのおかげでかけがえのないものになりました。正直、まだまだみんなと一緒に過ごしたいですが、新しい場所でもみんなとの日々を思い出して、頑張りたいと思います。

そして、在校生の皆さん。来年度から先輩となることや委員会や部活動を通して西ノ京中学校を引っ張っていくことに不安を感じている人もいると思います。しかし、どんな時でも一日一日を大切にして学校生活を楽しんでいてください。仲間と助け合い互いに高めあいながらたくさんのことに挑戦していってほしいと思います。

教職員の方々、三年間ありがとうございました。私たち
が安心して学校生活を送ることができたのは先生方のお
かげです。授業の後、わからないところを教えてくださっ
たこと、休み時間に先生方と他愛もない会話をして過ごし
たこと。時には厳しい言葉をかけてもらったことも、全部今
となっては私の大切な思い出です。不安だった高校受験
も先生方の熱い気持ちと優しい励ましのおかげで最後まで
頑張ることができました。私たちは自覚と責任を持ち、
自ら考えて行動できる学年になれたでしょうか?これから
も先生方から学んだことを忘れずに日々を過ごしていきま
す。

そして、一番近くで見守ってくれた家族へ。ここまで大きく育ててくれてありがとう。毎日おいしいご飯を作ってくれてありがとう。間違ったことをした時には、正しい道に導いてくれてありがとう。どんな時も味方でいてくれてありがとうございます。家族の存在が、私を強くしてくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもたくさん迷惑をかけると思いますが、私たちの成長を見守って下さい。

私たちは、西ノ京中学校を卒業し、それぞれの進路に向かって一步一歩自分の足で歩いていきます。仲間や先生方と離れるることはすごく寂しいですが、今後、大きな壁にぶつかったとしても、この西ノ京中学校で得た多くの学びを胸に自分の夢や目標に向かってがむしゃらに突き進んでいきたいと思います。皆様の幸せと西ノ京中学校の益々のご発展をお祈りし、答辞の言葉といたします。

令和七年三月十四日 卒業生代表

卒業は終わりではなく、新たな始まり

私からは、卒業生に2つの思いを伝えさせていただきました。一つは、力強く未来を切り拓く力を身につけ、未来的創造者として、大いに学び、たくさんの体験を重ね、多くの人と出会い、希望をもって、それぞれの夢を実現して欲しいということです。そして、もう一つは、子どもたちの一生懸命頑張る姿や成長を見守ることができたことによ

る喜びや、子どもたちの笑顔に、たくさんの元気をもらったことへの感謝の気持ちです。卒業式は終わりではなく未来へのスタートです。子どもたちには無限の可能性があります。それぞれの個性を活かし、これまで培った力を発揮して、困難に立ち向かい、仲間と協力し合いながら、素晴らしい未来を築いてくれることを心から祈念しています。

★★★ 3年生を送る会 ★★★

3月11日(火)3・4限に、3年生を送る会を実施しました。部活や生徒会のメッセージ映像、1組の手話を交えた歌「365日の紙飛行機」、1年生のエールや合唱、2年生のメッセージと合唱、どれも素晴らしい、1・2年生の思いは、しっかりと3年生に届いたと思います。また、3年生からも、圧巻の合唱が感謝の気持ちと共に披露されました。最後に全校生徒で「群青」を歌い上げ、感動の2時間は、あっという間に過ぎていきました。子どもたちの一生懸命取り組む姿は、眩しいほどに輝いて見えました。



★退職・離任教職員の発表は、3月24日（月）午後に、校内掲示板および学校ホームページにて発表します。また、離任式は3月28日（金）11:00～（登校：10:45）、西ノ京中学校にて行います。

★始業日 4月8日(火) 8:40 新クラス発表
着任式、始業式、学活など

令和6年度の「学校だより」はこれが最終号となります。一年間、本校の教育活動に賜りました温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。今後とも、ご支援を賜りますようよろしくお願ひいたします。

